

はていはてい
HATI-HATI



HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

桜満開！

4月の初めに、みんなで大山公園へ桜をみにいきました。去年より少し肌寒い天気でしたが、桜はちょうど満開でとてもきれいでした。中には、桜を見るのが初めての人もいて、感動している様子が印象的でした。インド出身のラジェシュさんは、「母国にいる妻や子どもにもこの景色を見せてあげたい」と話してくれました。



クニンガン 美しい地区の悲しい若者たち

公益社団法人 트레이ディングケア

監事 塚本 紀之

クニンガンは西ジャワ州に位置する一つの県である。県の人口は2015年統計で約100万人。最近、人口増加率が低くなったとはいえ2000年との比較で3.3%の増加を記録している。1975年からの40年間では38.3%増加し、平均年齢29.3歳という活力のある地域だ。地理的には全域が高地にあり、また、西ジャワ州で一番高いチルマイ山(3,078m)がいたるところから眺められる美しい地区だ。

クニンガンの労働局長がこの地区の課題として上げたのが、「若者たちに仕事がない」ということだった。働く能力がありかつ働く意欲があるのに働けない若者の数は、15,000人にもなると聞いた。百万人に対して若者だけで1万5千人である。単純に日本の人口まで分母を膨らませると180万人の失業者に匹敵する。すごい数だ。

クニンガンは山に見える美しい地区だ。それを資源としてキャンプや登山などのリゾートに

最近力を入れている。しかし、まだまだ弱い。若者に仕事がない。想像は簡単だ。ジャカルタまで車で4時間程度、おそらく若者は都市に出て働いているのであろう。海外での出稼ぎを期待する若者も多い。私は現地の日本語学校を訪問した。来日したい若者が予想以上に集まっている。ルール通り受け入れる日本企業ばかりなら、全員を受け入れることはまず不可能だ。同行のTrading Care代表は若者たちに言い放った。「ルール通りに受け入れるので年間12名までしか来日させられない」と。涙を流す若者も散見された。

若者の送り出しと受け入れの需給関係にミスマッチがあることは確かだ。このミスマッチにダークなブローカーが引き寄せられている現実も聞いた。結局、若者が悲しい現実には涙を流すことになる。

今月のやさしい日本語 「心の壁？」 日本語教師 林 三郎

日本ではマイノリティーである外国人にとって、日本でぶつかる3つの壁があるといわれます。一つ目は、日本の法律や社会保障制度を知らないために、それを生活上に上手に活用できない「制度の壁」、二つ目は、ひらがな・カタカナ・漢字、日本語特有の独特の言い回しなど、日本語という外国人にとって難解な「言葉の壁」、そして三つめは「心の壁」です。この「心の壁」こそ最も取り払わなくてはならない壁かもしれません。日本に独自の文化があるように、それぞれの外国人住民にも独自の文化や生活習慣があります。この煩わしさを避けて、外国人住民との関りなるべく持たないようにする空気が地域にできてしまうと外国人住民からも歩み寄りがなくなります。やさしい日本語は、この歩み寄りを日本人の側から進めていこうという試みでもあると思います。難しい言葉を簡単な言葉で言い表したり、長い文を短くするという技術面だけでなく、根底には、「相手の立場に立つという優しさ」があります。

やさしい日本語は、外国人の為だけでなく、子どもや高齢者など弱い立場の人たちにも配慮した、大事なそして素敵なコミュニケーションツールですね。



ベトナム人の楽しいお話 ～日本の生活の中で気づいたこと～ ホン

はじめて日本の保育園の卒園式に参加しました。外国人なので、どんなふうに行われるのか分からなくて、前もって友だちに聞いたり、ネットで調べたりして準備しました。服装もスーツとズボンできちんとした格好にしました。でも、実際に式に行ってみたら、そのかしこまった雰囲気にとっても驚きました。正直、気持ちの準備まではできていませんでした。

ベトナムでは卒園式はもっと明るくて楽しい雰囲気です。歌ったり踊ったりして、子どもにプレゼントを渡したりして、笑顔がいっぱいの時間になります。でも、日本の卒園式はちょっとちがっていて、もっとしっかりとした、感動的な雰囲気でした。式の最中、お母さんたちが泣いているのを見て、私も驚きました。日本人の友達に「泣きましたか？」と聞かれたけど、「泣いてないよ」と笑って答えました。心の中ではすごく嬉しかったのです。子どもが毎日がんばって通って、無事に卒園できたことが、ほんとうに誇らしかった。

きっと日本では、子ども一人ひとりの努力や成長を、家族や先生たちみんなで大事にしているんだなと感じました。それってとてもあたたかくて、すてきな文化だと思います。

忘れられない、大切な思い出になりました。



つながりつなげる楽しい話～自己紹介～

アンジー

はじめまして。この4月からスタッフになりました、アンジーと申します。アメリカと日本のダブルで、日本で生まれ育ちました。どうぞよろしくお願いいたします。4月は新たなスタートの時期、そして自己紹介の時期です。外国にルーツを持つ私は、自己紹介の度に目立つ、色々質問をされて疲れるなどの理由で、自己紹介に苦手意識を持って育ちました。ですが、 트레이ディングケアや多文化共生コミュニティセンターつなぐを通して出会う方々は、皆さん様々なバックグラウンドを持っていて、「あなたはどの国からきましたか？」と聞き合うことが当たり前です。そして、いろいろ質問が湧いてきて、お互いのことをシェアし合うことが楽しいです。自己紹介は相手に近づくとてもよいきっかけだと感じます。今年度も、たくさんの方と出会うことがとても楽しみです！

大切なお知らせ 特定技能の報告書について

4月より、当法人が特定技能外国人の方の支援をさせていただいています。四半期で提出する定期報告等についてのお願ひがあります。入管より、報告書は受入れ事業所単位で提出するように連絡がありました。提出は、出入国管理庁電子届出システムを利用するととても便利です。5月に訪問、監査にお伺いする際に登録についての説明と書類をお持ちします。お手数をおかけしますが、ご対応をお願いいたします。

代表理事 新美 純子

編集後記

暖かい季節になり、気持ちがいいですね。日本の春はお花見、卒業、進学、進級など様々なイベントがあります。

本文にある卒園式は私も同い年の子どもがおり、初めての経験なので、ベトナム人スタッフのママ友と一緒に考えました。日本でいっしょに暮らす仲間として様々なイベントも楽しんでいきたいと思っています。
陽子

Instagram
はじめました！



@TSUNAGU_TAKAHAMA

facebook
最新情報は
こちら



公益社団法人
トレーディングケア
〒444-1303
愛知県高浜市小池町6-5-6
TEL 0566-57-7700
FAX 0566-55-1305

日・月・祝日はお休みです。